

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	西成区
学 校 名	大阪市立新今宮小学校
学校長名	奥村 肇

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立新今宮小学校 第6学年 48名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は国語科においては大阪市平均より8ポイント低い。「言葉の特徴や使い方に関する事項」については10.4ポイント、「我が国の言語文化に関する事項」については6.1ポイント、「読むこと」については11.1ポイント低い結果であった。「情報の扱い方に関する事項」については、大阪市平均とほぼ同じであった。算数科においては大阪市平均より9ポイント低い結果であった。「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」すべての項目で4～10ポイント低い結果であった。理科においては大阪市平均より12ポイント低い結果であった。「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」すべての領域で5～12ポイント低い結果であった。平均無回答率は国語科4.3ポイント、算数科4.2ポイント、理科3.1ポイントで大阪市平均より高い結果であった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕平均正答率は、大阪市平均より8ポイント低い結果であった。朝の学習で視写や本の読み聞かせの活動に取り組み、国語力の向上に取り組んでいる。その結果、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や平均無回答率の割合が昨年度と比べ、大きく改善されている。
 〔算数〕平均正答率は、大阪市平均より9ポイント低い結果であった。どの項目も大阪市平均との差は小さくなっているが、基本的な計算の力を伸ばす必要がある。習熟度別少人数学習を継続して取り組み、子どもたち一人ひとりに応じた学習活動を実施していく。
 〔理科〕平均正答率は、大阪市平均より12ポイント低い結果であった。理科の学習では観察や実験の学習を子どもたちは意欲的に頑張っており取り組んでいる。しかしながら、「地球」を柱とする領域の大阪市平均正答率と比べると大きく下回っている。気候の変化や、天体に関することなど、「地球」に関する興味・関心を高める授業を構築する必要がある。

質問調査より

児童質問紙から「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか」の項目では「3時間以上勉強している」は全国平均と変わらないが、「30分より少ない」「全くしない」の割合は全国・大阪市平均より高く、4割の児童が該当していた。また、「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか」の項目では、「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」の項目の割合は全国・大阪市平均より高いが、「全く使っていない」の項目では、全国・大阪市平均より高い。2つの質問項目から家庭における学習習慣の二極化が見受けられる。各家庭における学習習慣の定着を啓発していく。

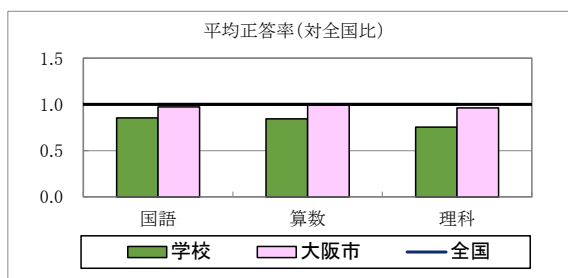
今後の取組(アクションプラン)

国語科においては、昨年度から学力向上支援事業の取り組みとして、リーディングスキルや視写の活動を実施し、書く力が向上している。昨年度と比べ、無回答率の割合が大幅に改善され、成果として表れてきている。しかしながら、音読学習に課題が見られ、物語文や説明文を声に出して読むことに抵抗がある児童が多い。様々な読書活動を通じて、音読活動に親しみ、さらに本を読むことが楽しいと感じる国語科の授業を構築していく。算数科においては、学級担任を中心に習熟度別少人数学習に取り組んでいる。次の単元に入る前にレディネステストを実施し、子どもたち一人ひとりに応じた支援体制を整え、個別最適な学習を進めている。昨年度と比べると、無回答率は改善されているが、さらに基礎基本の学習の定着を図る取組を進めていく。

【 全体の概要 】

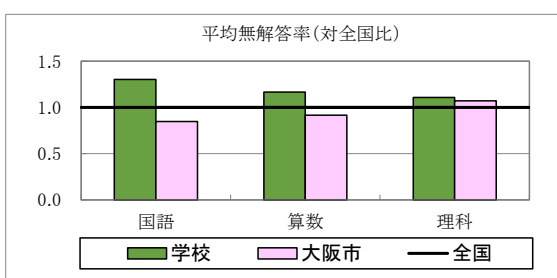
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	57	49	43
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	4.3	4.2	3.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



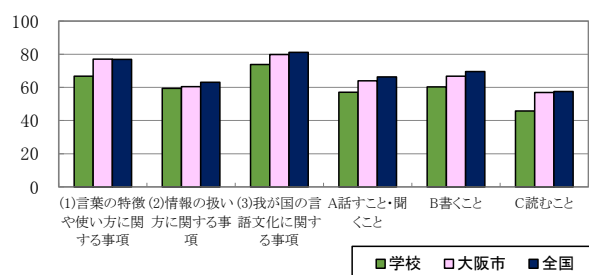
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	66.7	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	59.5	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	73.8	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	57.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	60.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	45.8	56.9	57.5

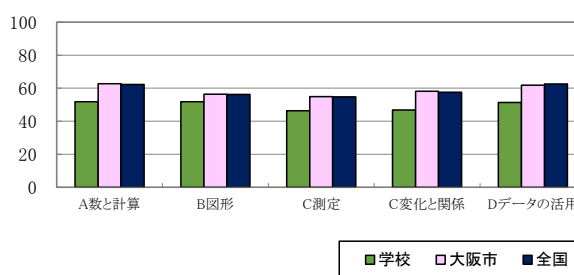
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	51.8	62.7	62.3
B 図形	4	51.8	56.4	56.2
C 測定	2	46.4	54.9	54.8
C 変化と関係	3	46.8	58.2	57.5
D データの活用	5	51.4	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

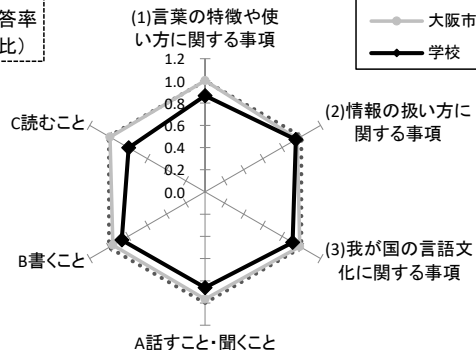


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



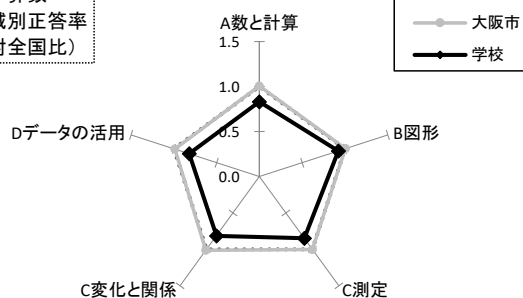
国語

内容別正答率
(対全国比)



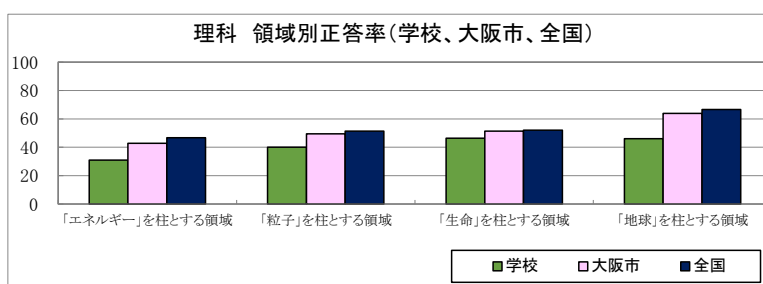
算数

領域別正答率
(対全国比)

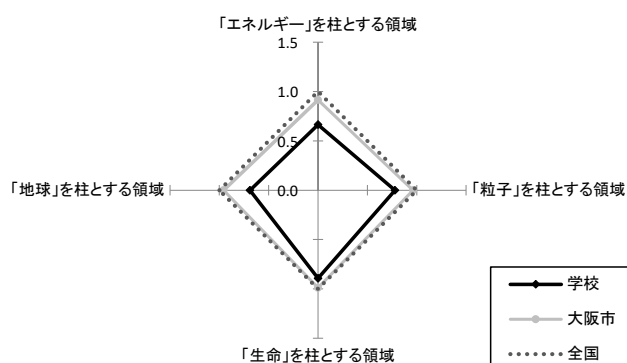


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	31.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	40.1	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	46.4	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	46.0	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

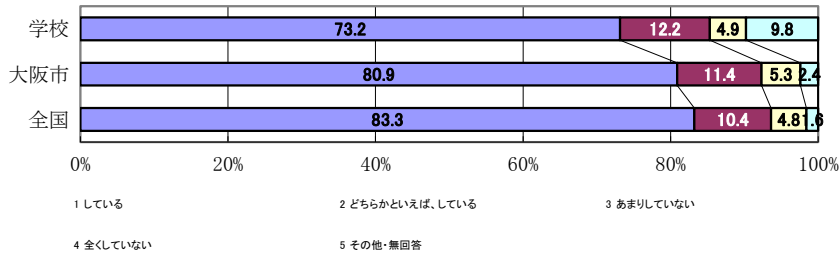
4

5

6

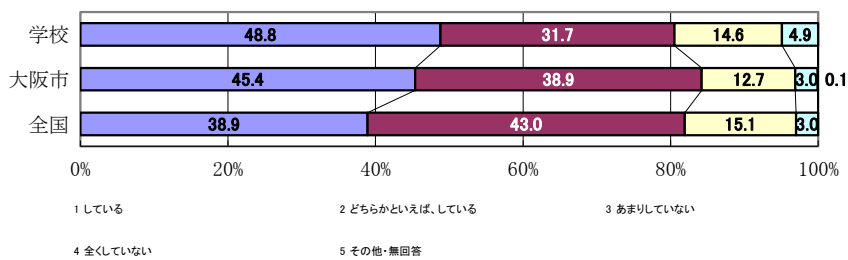
7

8



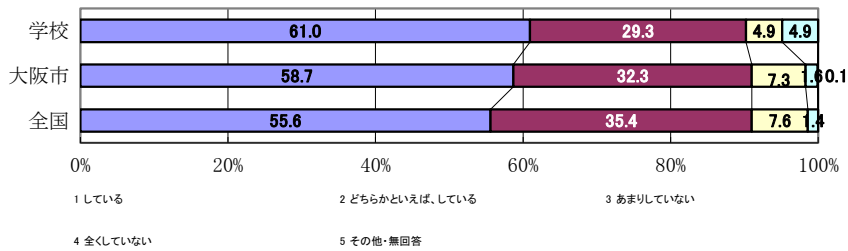
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



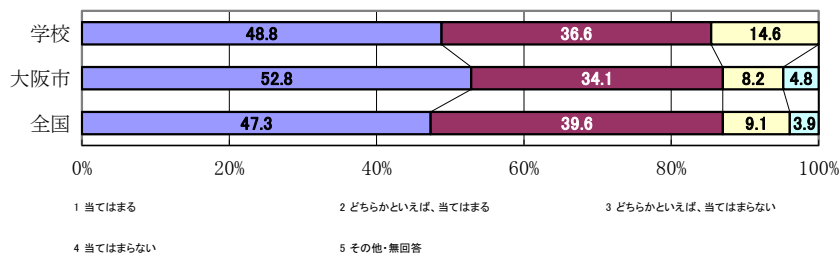
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



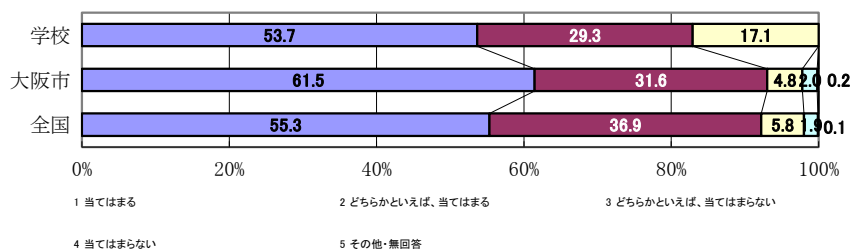
5

自分には、よいところがあると思いますか



6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



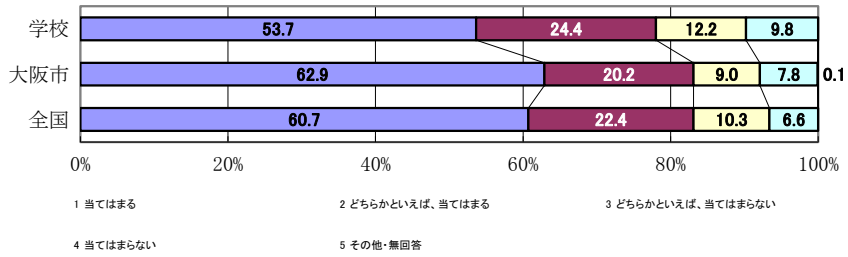
児童質問より

質問番号

質問事項

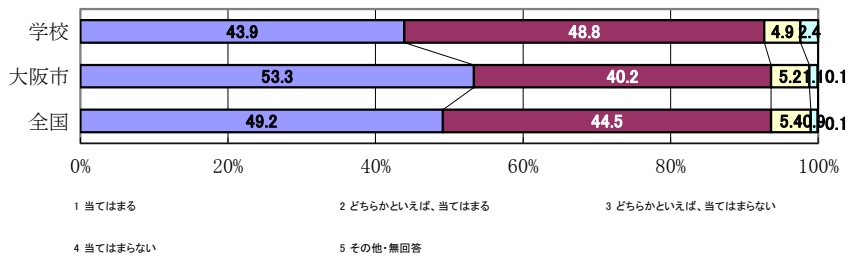
7

将来の夢や目標を持っていますか



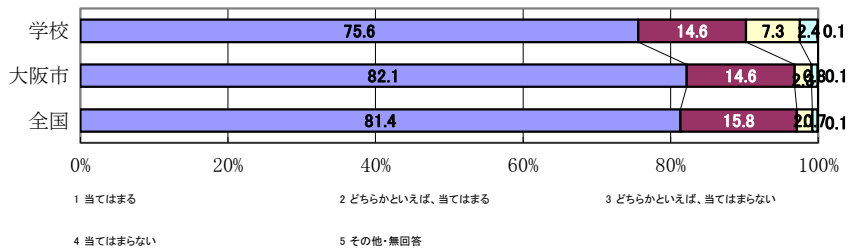
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



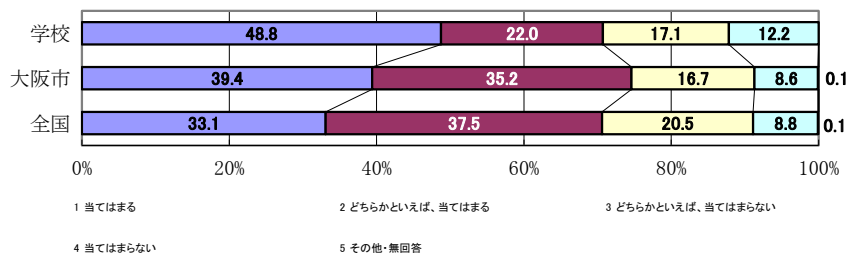
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



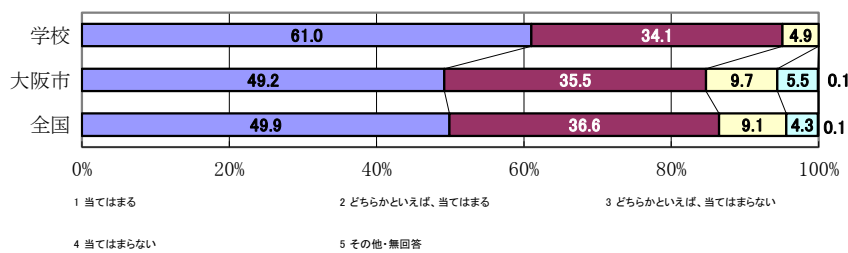
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



児童質問より

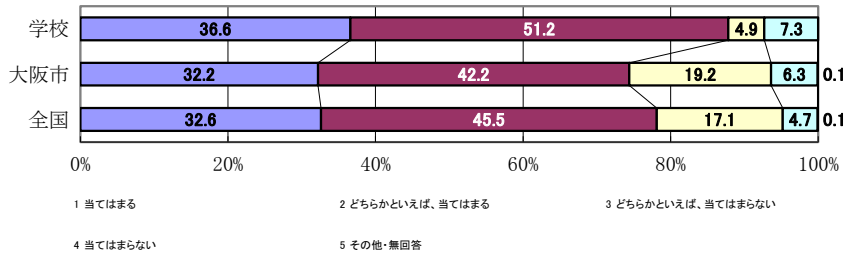
質問番号

質問事項

13

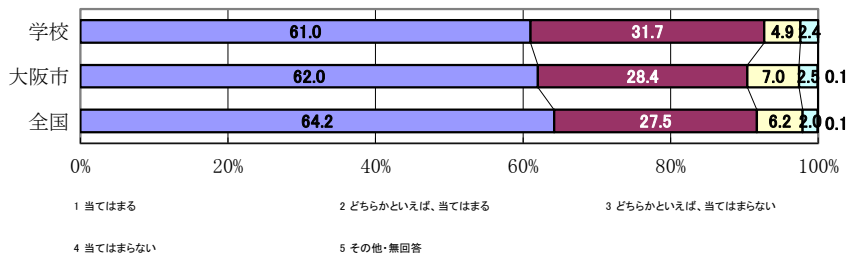
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



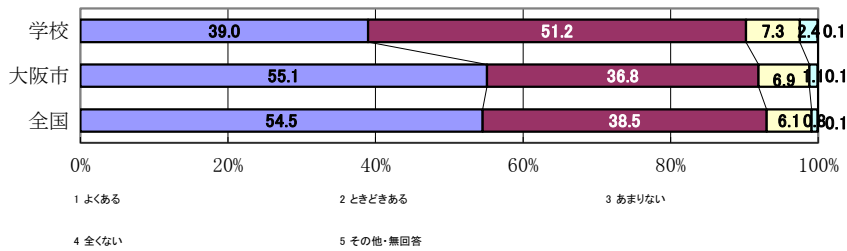
14

友達関係に満足していますか



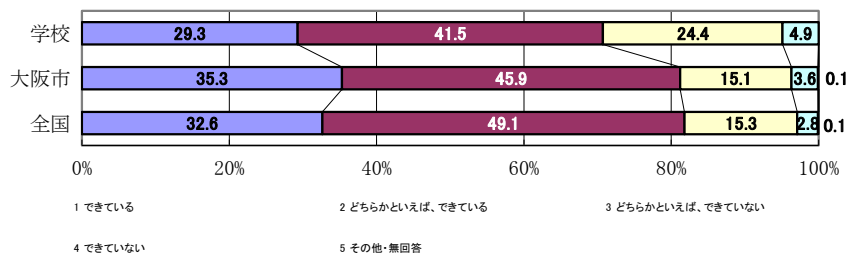
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



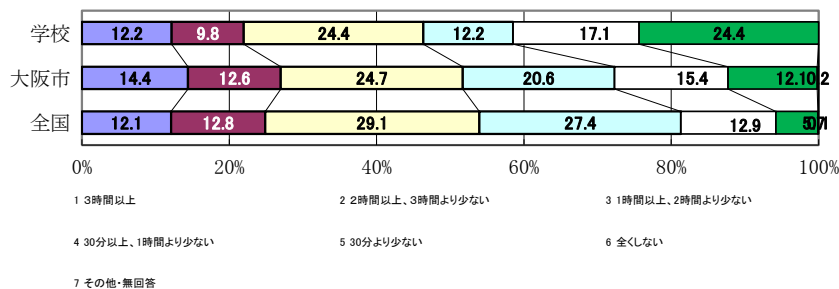
16

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



児童質問より

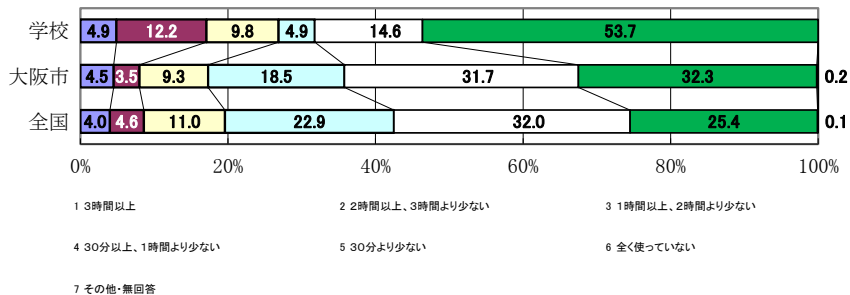
質問番号

質問事項

18

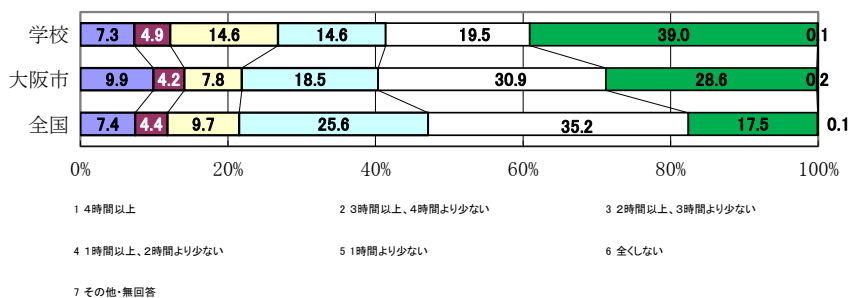
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

1 2 3 4 5 6 7 8



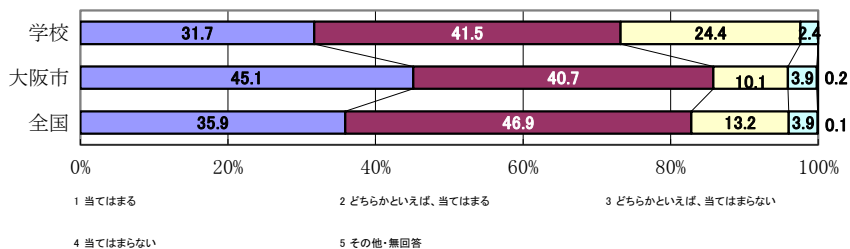
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



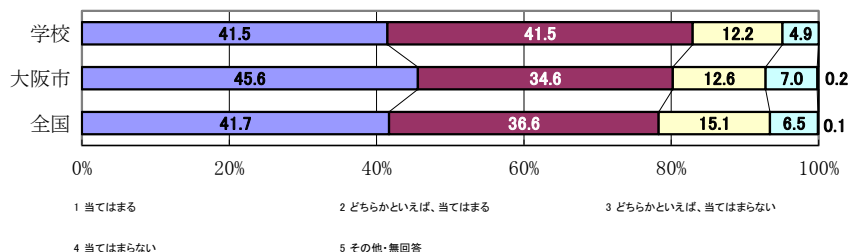
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



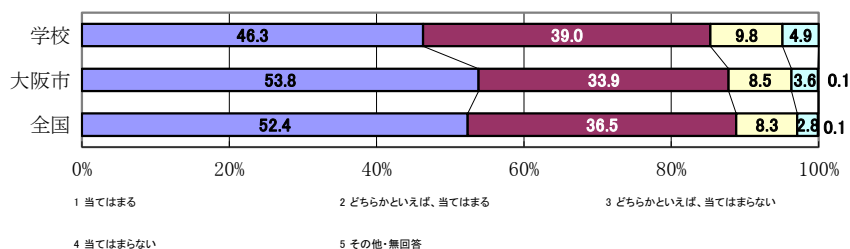
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



62

理科の授業の内容はよく分かりますか



学校質問より

質問番号

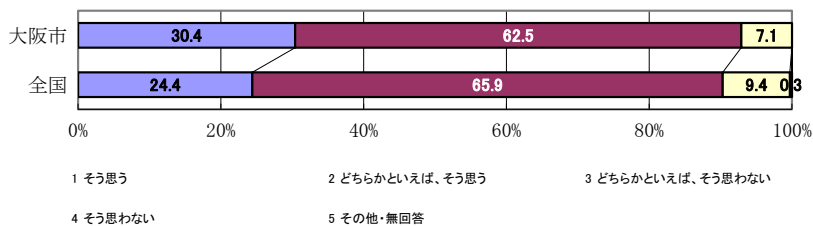
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

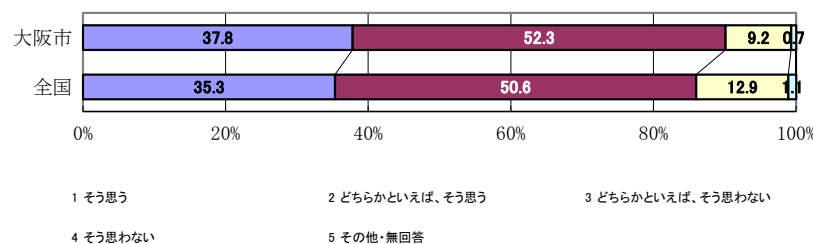
学校 「そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

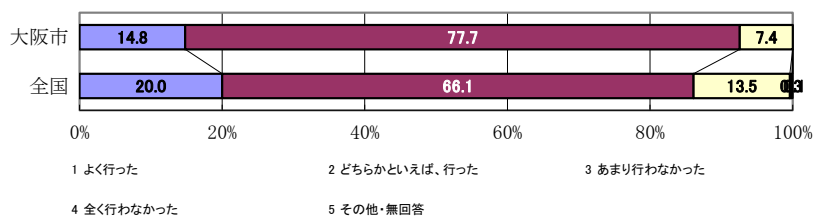
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

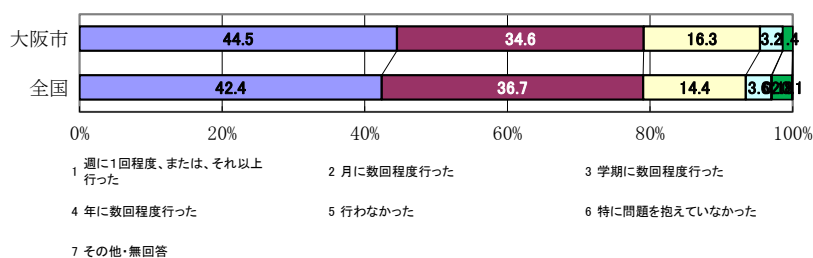
学校 「よく行った」を選択



11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

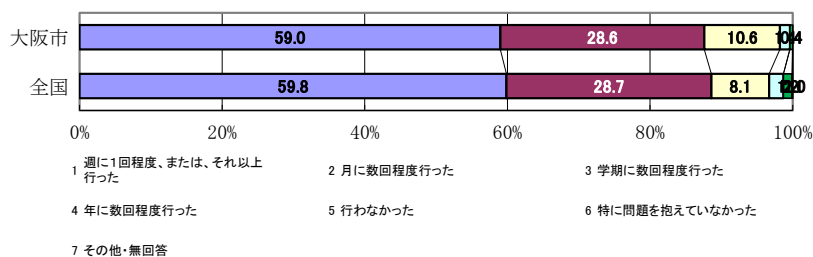
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



学校質問より

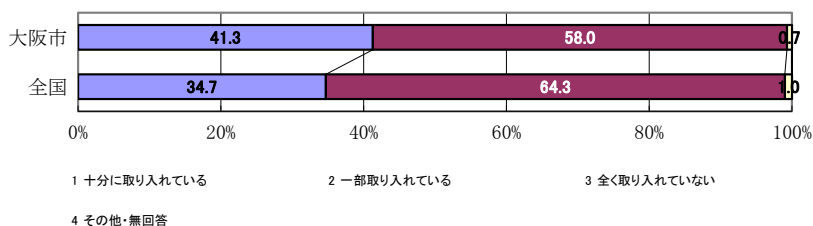
質問番号

質問事項

13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

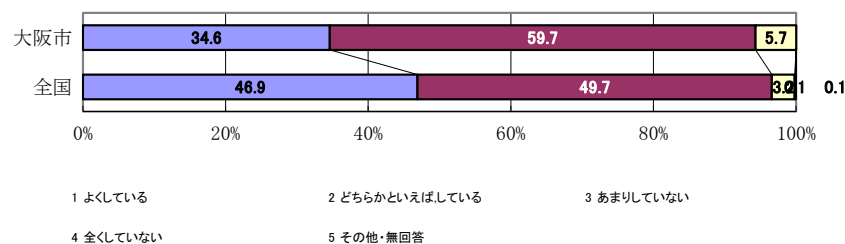
学校 「十分に取り入れている」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか

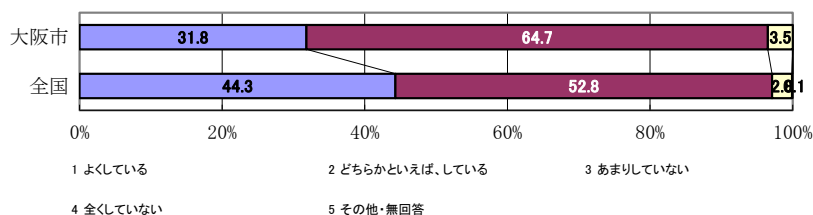
学校 「よくしている」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

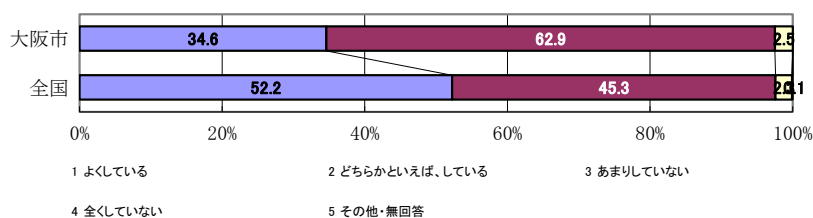
学校 「よくしている」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

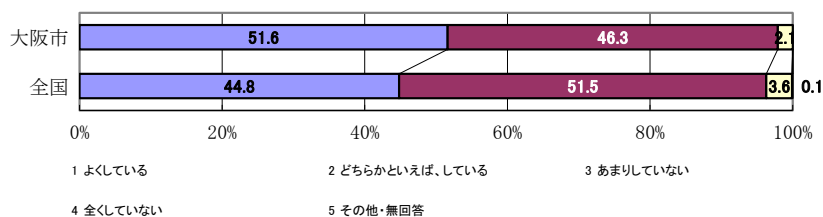
学校 「よくしている」を選択



17

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

学校 「よくしている」を選択



学校質問より

質問番号

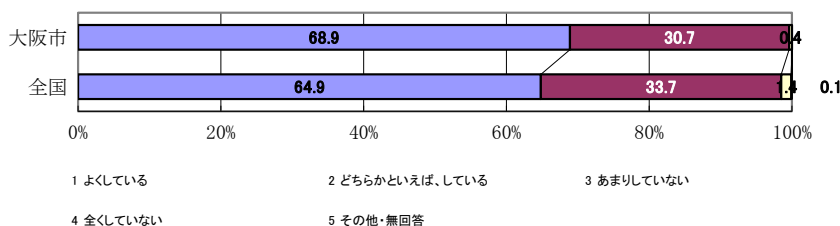
質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

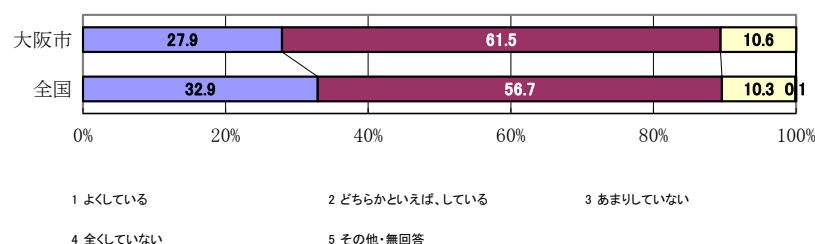
学校 「よくしている」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

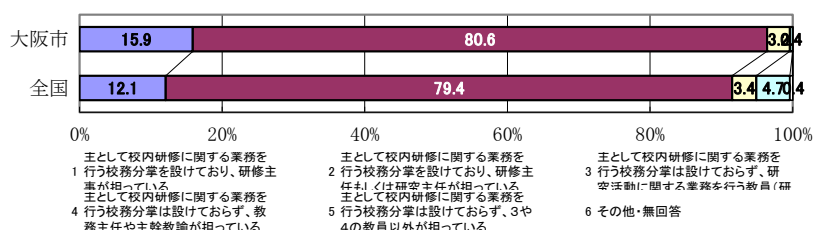
学校 「よくしている」を選択



20

校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)

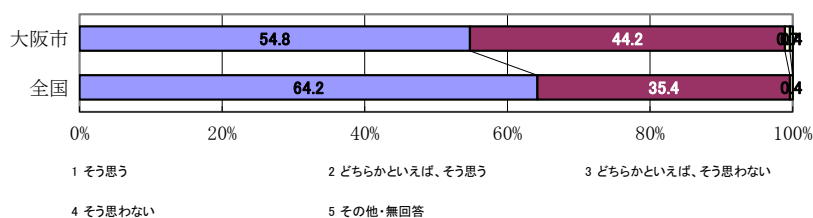
学校 「主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、研修主任もしくは研究



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

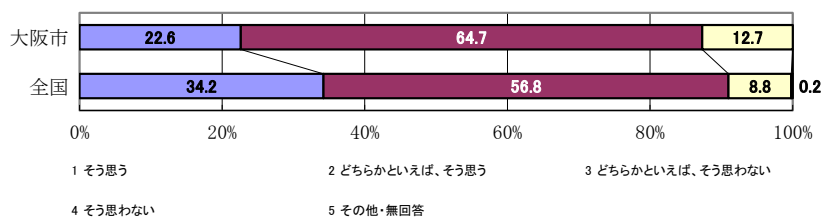
学校 「そう思う」を選択



22

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



学校質問より

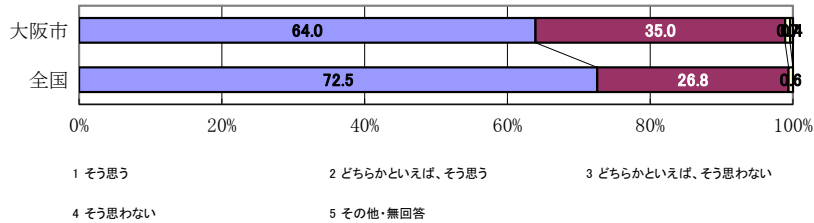
質問番号

質問事項

23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

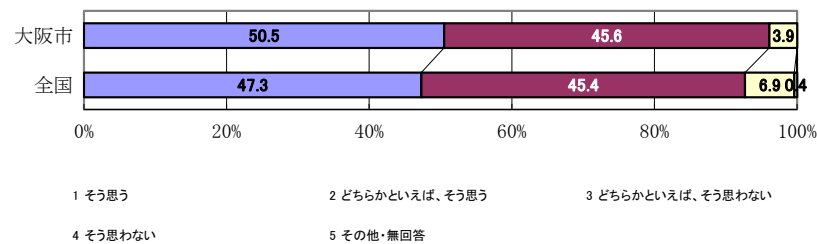
学校 「そう思う」を選択



24

ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていると思いますか

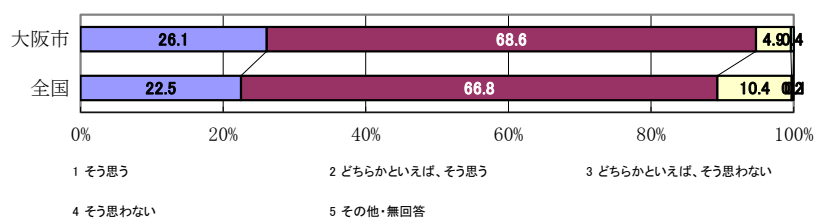
学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

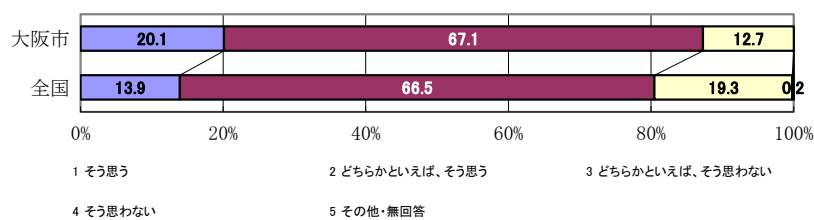
学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

